



株式会社あさひ

交通安全・啓発に関する取り組み

- ▶ 自転車の交通安全教室【セーフティスクール】
- ▶ 補助輪はずしの教室【キッズスクール】
- ▶ 店頭での配布物等



株式会社あさひ

自転車の交通安全教室 セーフティスクール
補助輪はずしの教室 キッズスクール

あさひの交通安全教育4つの柱

あさひが未来の自転車社会を担う子ども達へ伝えていきたいこと！

- 1) 安全を判断する力の育成
ルールを教えることよりも大切な交通ルールの本質
- 2) 周囲への思いやり
道路の利用者である他者へ配慮すること
- 3) 自転車の運転手としての責任
被害者にも加害者にもなる可能性があること
- 4) 自転車は自分の可能性を広げてくれる素晴らしい乗り物であるということ

**なぜルールがあり、守る必要があるのか？
道路を利用する社会の一員であることを、子ども達に伝えています**

子どもたちの交通安全教室（あさひセーフティスクール）

自転車の正しい交通ルールを学び、運転手としての責任感や、周囲への思いやりの心を育む交通安全教室を実施しています。交通安全の本質を理解してもらうことを重視し、どうしてルールがあるのかをお子様にお問い合わせながら、楽しく、自発的に学んでいただきます。

【これまでの実績】

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
回数	4回	6回	5回	3回
参加人数	49人	83人	140人	74人

子どもたちの交通安全教室（あさひセーフティスクール）

未就学児から低学年のための自転車の交通安全教室セーフティスクールKids

講座概要

- 対象年齢：3～7歳（小学2年生くらいまで）
- 室内・屋外、45分プログラム（3つのプログラムで構成）
- オリジナルの交通安全紙芝居や“〇×クイズ”を楽しみながら交通安全を学ぶプログラム



他の利用者の気持ちを考えながら、何がどうしてダメなのか？ どうしたらいいのか？ どうしてルールがあるのか？を一緒に考える講座です。

子どもたちの交通安全教室（あさひセーフティスクール）

プログラム構成

パート1：自転車のルール編

1. 並走の禁止
2. わき見運転
3. 歩道走行時は歩行者優先
4. 自転車のベルの使用について
5. 信号のルール



- ならんでおしゃべりしながらはったら、ダメ
- どけどけベルは、ダメ
- しんごうむしは、ダメ



プログラム構成

パート2：ヘルメットの着用方法編

1. 道路には思いがけない危険が隠れている
2. ヘルメットは正しく着用していなければ機能を発揮しない
3. チャイルドシートのベルトをしめる
4. 自転車は楽しい乗り物



子どもたちの交通安全教室（あさひセーフティスクール）

プログラム構成

パート3：〇×クイズタイム

パート1～2の内容を振り返るクイズです。
文字が読めないお子様でもわかりやすいように絵を見ながら、どちらが正しいかを考えるクイズとなっています。

1. 並進禁止、歩道走行時のマナー、信号を守る、ヘルメットの着用方法
2. 裏面は「ぶたはしゃべる」で簡単な自転車点検の説明あり
3. 解答用紙のご用意もあり

〇×クイズで紙芝居のおさらいを実施していきます。
最後には、自転車の簡単な点検方法についてもお伝えしていきます。



子どもたちの交通安全教室（あさひセーフティスクール）

中学年・高学年のための自転車の交通安全教室セーフティスクールJr.

講座概要

- 対象年齢：8～12歳（小学3～6年生くらいまで）
- 室内・屋外、45分プログラム（3つのプログラムで構成）



道路を利用する社会の一員として、ルールを知り守ることの大切さをお伝えいたします。

子どもたちの交通安全教室（あさひセーフティスクール）

プログラム構成

パート1：自転車の基本的なルールの勉強

パート1では、絵の中に隠れている交通ルールの間違いを探して正しいルールに○をつけていくクイズです。基本的なルールを理解しているのかを確認しながらクイズをすすめていきます。信号遵守、標識の意味、歩道や車道走行時の注意点、並進の禁止、傘さし運転など、子ども達に知って欲しい交通ルール13項目がクイズとなっています。

プログラム構成

パート2：自転車事故推理クイズ

パート2では、架空の交通事故をもとに事故の原因を推理するクイズです。このパートでは子ども達自身に、なぜ交通事故が発生したのかを考えてもらいながら、道路を利用する社会の一員としてルールを知らないまま利用することは良いことなのかを考えていただきます。

道路の走り方にもきまりがあります
ルールをまもって運転しよう!

どこかどこかあふないだろうか?

ただしいものに○をつけて!

- 1 (あか・あお) 番号で書こう
- 2 歩行者専用マークがあるところは (自転車・歩行者) が通ることができる
- 3 歩道を通るときは (車道・真ん中・建物) 側を走る
- 4 車道を通るときは (右へ左) 側
- 5 多く人にどいてどいては (左へ右) 側
- 6 踏んでバグが下りてきたら (走らな) こと
- 7 横い道から広い道に出るときは (広い横い道) を走っている車や自転車が優先
- 8 交差点で折るときは、(二回確認) しなければならない
- 9 丸い形をした交差点は 標識のマークに従って、マークと反対に走らなければならない
- 10 傘をさしながら自転車を運転して (いい) だめ
- 11 横切ったら (ライト・ブザー) をつけないといけない
- 12 (2+1) 人のほかはダメ
- 13 (横断) に進入で走ろう

株式会社あさひ

学校 _____ クラス _____ 名前 _____

こうつうじこげんいん
交通事故の原因はなに?!

君はどう思う?

事故のようす 事故発生時間 夜8時10分ごろ

ある寒い冬の日、タロウ君は道の端を自転車で走っていた。

うしろから走ってきた車にはねられたが、ヘルメットをかぶっていたので軽いケガですんだ。

この事故はなぜおこったのか?

その場にいわれた3人に話をきいた

証言その1 歩道を歩いていたのよんさん
歩道火の自転車で走って、自転車が事故現場を直撃した。

証言その2 すれ違った自転車のよんさん
歩道をおよびて、車道に走った。タロウ君のライトが見えたので、歩道より走った。

証言その3 車の運転手のよんさん
タロウ君がいきなり目の前に飛び出してきた。

どんな状況だったでしょう?

何がいけなかったのか推理してみよう!

正しいヘルメットのかぶり方

ヘルメットは正しく着用していないと、転倒や衝突の衝撃で脱落してしまい、本来の機能を発揮できない場合があります。

- 1 ヘルメットは水平に
眉毛の上から目1〜2本分程度を目安に、深くかぶり、ヘルメットが水平になるように調整する
- 2 耳の下で「V」の字
耳をはさんで、あごひもが「V」の字になるように、耳下部分のあごひもがアジャスターで調整する
- 3 口を大きく開けて調節
「あ」と口を開けた時、つばさくらしいの長さにあごひもの長さを調節する

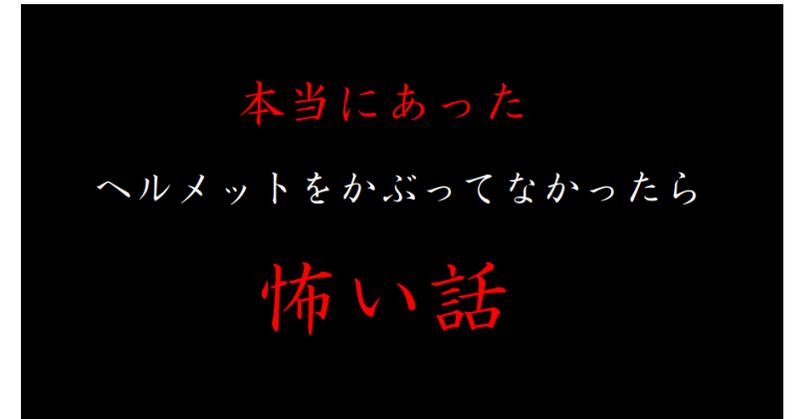
子どもたちの交通安全教室（あさひセーフティスクール）

プログラム構成

パート3：ヘルメットの着用方法

パート3では、ヘルメットの正しい着用方法や実際に、交通事故にあったヘルメットの画像をお見せしながら、正しい着用方法について学びます。

ヘルメットを着用することで、加害者の生活を守ることができる点についても触れ、ヘルメットは自分だけを守るものではなく、自分や自分の家族、そして悪意のない思いがけない事故の加害者となってしまった方や、その家族の生活を守るものであるということをお伝えしています。



子どもたちの交通安全教室（あさひセーフティスクール）

子ども達を守るために・・・セーフティスクールへの想い

- ▶ 自転車は、子どもから大人まで誰もが気軽に利用できる乗り物。
- ▶ その反面で交通ルールやマナーを守り、安全に利用しなければ、重大な事故につながる可能性もある。
- ▶ 子ども達が交通ルールを知らないために事故に巻き込まれ、被害者や加害者になってしまうような事を少しでも減らし、毎日笑顔で元気に自転車を楽しめる社会を作りたい。
- ▶ 交通ルールには理由があり、守る必要があることを子ども達自身が納得し、理解していただくことで、悲しい交通事故から子ども達を守ることにつながると考えています。
- ▶ 子ども達から変化した交通安全の意識は、そのご家族や友人、そして、その子ども達が大きく成長した将来の社会へ広がり、より良い自転車社会を創り上げることにつながると信じています。



株式会社あさひ

自転車の交通安全教室 セーフティスクール
補助輪はずしの教室 キッズスクール

子どもたちの交通安全教室（あさひセーフティスクール）

自転車デビューを応援！キッズスクール 補助輪をはずして乗ってみよう！

お子様の補助輪外しのお手伝いや、挑戦するお子様のサポートを行なっています。お子様の「できた」を応援しながら、自転車に乗ることで感じられるわくわく、達成感を通じて「自転車で楽しむ」ことをお伝えしています。

【これまでの実績】

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
回数	43回	44回	43回	60回
参加人数	332人	385人	322人	625人

補助輪はずしの教室 キッズスクール

講座概要

- 対象年齢：4歳以上かつ95cm以上
- 屋外、90分プログラム
- 各店舗での実施の他、公園や商業施設、イベント内でも開催



補助輪はずしの練習を通じて、成長の大切な基礎となる「努力する楽しさ」を伝えています。

補助輪はずしの教室 キッズスクール

1. 正しいヘルメットの着用方法レクチャー

- 親子で正しく着用できているか3つのポイントを押さえながら学ぶ
- ポーズを取り入れながら、子どもの印象に残りやすく教えています
- 親子で一緒に学ぶことで、保護者の方の意識変容を促す
- 自転車に乗る時には正しくヘルメットを着用することを子ども達自身に約束してもらい、合格シールを貼付する



2. ブレーキの使い方レクチャー

- 道路で使用することを想定したブレーキの練習
- 手の幅に合わせたブレーキの調整なども実施
- 道路では「止まれ」と書いてあるところではとまることを教える
- 練習中にも“止まれ”と急に掛け声をかけ、いつでもブレーキを使えるように練習する





株式会社あさひ

店頭での配布物

店頭での配布物等

●自転車かんたんスタートガイド

自転車納車時にお客様にお持ち帰りいただいている冊子(全15頁)
自転車の製品や機能に関すること以外にルール等についても記載



表紙



「ぶ・た・は・しゃ・べる」



「自転車利用五則」等



ありがとうございました。